

ガザ停戦合意、紅海航行正常化に期待
海運市況には下方圧力が

米国とカタールによると、ガザ地区で戦闘を止めるイスラエルとイスラム組織ハマスが停戦の合意に達した。スエズ運河・紅海航行の正常化が期待される一方、高値幅経由の迂回航路を取っていたことによるトンマイルの特長効果が顕著して海運市況に下方圧力が加わる可能性がある。>>> P14

世界の航空貨物
物量前週比29%増、運賃は前年超え

航空貨物情報調査会社のワールドACDによると、2025年1月6～12日(第2週)の世界の航空貨物量は前週比29%増となった。年末年始休業明けで物量が増えたと見られる。特にアジア太平洋発米圏向けは需要、スポット運賃ともに強含みで推移した。>>> P6

半導体装置販売見通し
AI以外需要鈍化も25年度過去最高へ

日本発航空輸出の主要品目のひとつ、半導体装置の販売市場が順調に拡大している。日本半導体製造装置協会(SEAJ)は16日、輸出を含む日本製半導体装置の2025年度の全世界向け販売高予測を前年度比5.0%増の4兆6590億円と発表した。24年度を越えて過去最高の予想とした。>>> P7

Top Story

3月爆検拡大、来年からX線検査

航空貨物保安KS/RA制度が厳格化

国際航空貨物輸送のセキュリティ確保と物流円滑化を目的とするノンシップパー(特定荷主=KS)/レギュレーテッドエージェント(特定航空貨物利用運送事業者など=RA)制度での貨物検査が厳格化する。安全性が確認されているKS以外の貨物は、フォワーダーを中心としたRAまたは航空会社・上屋会社などが爆発物検査を行っているが、今年3月から検査対象がカートン単位に拡大するほか来年1月からは貨物の「中身」の安全確認まで求められる。現在は外装で爆検を行っている。全量開検での安全確認は現実的ではなく、X線検査装置での爆検が求められる。荷主は非KSが大半を占めており、業界全体での対応が課題になる。>>> P3



国、荷主、業界全体での議論や取り組みが求められる

AD



Daily Cargo紙面版のご紹介

Daily Cargoは、通算40年以上の歴史を持つ物流専門紙です。日刊航空貿易(1979年創刊)、季刊CARGO(1984年創刊、後に月刊CARGO)を統合し、2009年に国際物流の専門メディア、日刊CARGOを創刊。さらに、2019年には媒体名・判型を変更し現在の発行形態へと至ります。

- 体裁 A4縦型/横組(タテ297mm×ヨコ210mm)、16ページ
- 定価 1カ月10,000円(税込10,800円)
- 発行日 月～金曜(祝祭日、当社の定める休業日を除く)
- 創刊 1979年11月



紙面版

広告メニュー価格表〈純広告〉

掲載枠	サイズ (天地×左右)	純広告 掲載料金 (すべて税別)		掲載回数	備考
		カラー	モノクロ		
題字横(1面)	36 × 55mm	¥50,000	—	1回	
表紙下(1面)	86 × 180mm	¥500,000	¥340,000	1回	
表3	260 × 180mm	¥600,000	¥400,000	1回	
表4(裏表紙)	260 × 180mm	¥700,000	¥500,000	1回	A4別冊特集号のみ
記事(1ページ)	260 × 180mm	¥500,000	¥340,000	1回	掲載面は航空/海運/ロジスティクスから選択
記事(1/2ページ)	120 × 180mm	¥250,000	¥170,000	1回	
記事(1/4ページ)	60 × 180mm	¥120,000	¥90,000	1回	
コラム下	60 × 180mm	¥250,000	¥170,000	1回	
名刺	66 × 61mm	¥30,000	—	1回	
求人(4回/1セット)	60 × 180mm	¥300,000	¥200,000	4回	掲載面は航空/海運/ロジスティクスから選択
メルマガ ヘッダー	全角36文字×5行	—	¥150,000	5回	テキスト広告
メルマガ フッター	全角36文字×5行	—	¥100,000	5回	テキスト広告

※同じ広告枠で複数回の掲載をご希望の場合、6回以上10%、12回以上20%、24回以上30%の割引を適用



紙面版

広告メニュー価格表〈記事体広告〉

掲載枠（中面のみ）	文字数 （写真・図版なしの場合）	掲載料金（すべて税別）	掲載回数	備考
1/2ページ	1,000文字程度	カラー ¥330,000 モノクロ ¥230,000	1回	取材・記事作成費込み。または記事の持ち込みも可能(当社の編集方針に合わせた文字等の校正が入ります。てにをは等)。
1ページ	2,000文字程度	カラー ¥650,000 モノクロ ¥450,000	1回	取材・記事作成費込み。または記事の持ち込みも可能(当社の編集方針に合わせた文字等の校正が入ります。てにをは等)。
2ページ	4,000文字程度	カラー ¥1,300,000 モノクロ ¥900,000	1回	取材・記事作成費込み。または記事の持ち込みも可能(当社の編集方針に合わせた文字等の校正が入ります。てにをは等)。

※同じ広告枠で複数回の掲載をご希望の場合、6回以上10%、12回以上20%、24回以上30%の割引を適用



題字横

表紙(1面)の題字「Daily Cargo」および掲載日表示のそばの広告枠です。

日付は都度確認されるため、題字横広告は目にとまりやすい傾向があります。枠自体は小さいですがリーズナブルな料金での掲載が可能。長期的な複数回掲載におすすめしています。

- 広告サイズ: 天地36mm×左右55mm
- 掲載回数: 1回
- 料金: カラー50,000円(税別)

※ご掲載希望の場合は当社営業担当者またはDaily Cargo電子版「お問い合わせ」からご連絡ください。
 ※掲載枠の確保は先着順となります。ご希望の掲載日に沿えない場合がございます。



表紙下

最も目を引く広告枠です。

その日のトップ記事の下、「Air」「Logistics」「Ocean」の各モードのトピックスの下に位置しています。同枠の活用は、大きなPR効果を期待できます。

- 広告サイズ： 天地86mm×左右180mm
- 掲載回数： 1回
- 料金： カラー500,000円(税別)／モノクロ340,000円(税別)

※ご掲載希望の場合は当社営業担当者またはDaily Cargo電子版「お問い合わせ」からご連絡ください。
 ※掲載枠の確保は先着順となります。ご希望の掲載日に沿えない場合がございます。



表3

表4の裏側にあたる、紙面1ページ分全面を活用した広告枠です。

利用スペースが大きいため、PR内容をしっかりと表現することが可能です。

- 広告サイズ： 天地260mm×左右180mm
- 掲載回数： 1回
- 料金： カラー600,000円(税別)／モノクロ400,000円(税別)

※ご掲載希望の場合は当社営業担当者またはDaily Cargo電子版「お問い合わせ」からご連絡ください。
※掲載枠の確保は先着順となります。ご希望の掲載日に沿えない場合がございます。

表4(裏表紙)

※A4別冊特集号のみ

20

第三種郵便物認可 2025年3月13日(木) Cargo

表4

裏表紙となる表4の紙面1ページ分全面を活用した広告枠です。

利用スペースが大きいため、PR内容をしっかりと表現することが可能です。A4別冊特集号のみの広告枠です。

- 広告サイズ： 天地260mm×左右180mm
- 掲載回数： 1回
- 料金： カラー700,000円(税別)／モノクロ500,000円(税別)

※ご掲載希望の場合は当社営業担当者またはDaily Cargo電子版「お問い合わせ」からご連絡ください。
※掲載枠の確保は先着順となります。ご希望の掲載日に沿えない場合がございます。

記事中(1ページ)

紙面1ページ分全面を活用した広告枠です。

利用スペースが大きいため、PR内容をしっかりと表現することが可能です。「Air」「Logistics」「Ocean」の各モードから掲載カテゴリーを選択可能です(ページ指定は不可)。

記事中
(1ページ)

- 広告サイズ: 天地260mm×左右180mm
- 掲載回数: 1回
- 料金: カラー500,000円(税別)／モノクロ340,000円(税別)

※ご掲載希望の場合は当社営業担当者またはDaily Cargo電子版「お問い合わせ」からご連絡ください。
※掲載枠の確保は先着順となります。ご希望の掲載日に沿えない場合がございます。

再生可能ディーゼル燃料で協力へ

■ HACTL、シェル香港と

香港国際空港で最大の独立系上屋会社、香港エアカーゴターミナルズ(HACTL)は4日、石油大手のシェル香港と、再生可能ディーゼル燃料に関する戦略的協力について覚書(MoU)を締結したと発表した。シェル香港と、再生可能ディーゼル燃料の分野では、HACTLが初の戦略的協力相手だという。

同MoUには、電気自動車の充電設備やHACTL上屋「スーパーターミナル1」のグラウンドハンドリング関連設備についての協力も含まれている。

今回のMoUは、従来の協力関係を強化するもの。両社は2024年4月から1年間の、香港空港管理局が主導する空港全体のプログラムの中で、ランプ車両の一部を対象とした、水

素化分解植物油(HVO)導入の評価を行った経緯がある。

HACTLのウィルソン・クオン・チーフエグゼクティブは「HVOはエンジンの改造を必要とせず、季節や気候条件の変化にも対応できる。シェル・リニューアブル・ディーゼルは、当社がこれまで使用してきたB5/B7バイオディーゼルよりもやや高価だが、当社の調査では、従来の石油由来のディーゼル燃料と比較して、ライフサイクルでの温室効果ガス排出量を劇的に削減できることが確認されている。再生可能ディーゼルを全面的に採用することで、スコープ1の温室効果ガス排出量を40%削減することができる」と期待感を示した。

HACTLは、牽引車、ローダー、ベルトコンベヤー、パッセンジャー



HACTLのウィルソン・クオン・チーフエグゼクティブ(写真左)とシェル香港のアン・ユー・マネージングダイレクターがMoUに署名した

ステップなど190台の地上支援装置(GSE)の多くにHVOの使用を拡大する計画を示している。これは、GSEを電動式のものに代替する試験を進め、本格的に導入するまでの期間、温室効果ガス排出量を削減するための暫定的な措置とするもの。

記事
中
(1/2ページ)

記事中(1/2ページ)

紙面1/2ページ分を活用した広告枠です。

「Air」「Logistics」「Ocean」の各モードから掲載カテゴリーを選択可能です(ページ指定は不可)。

■ 広告サイズ: 天地120mm×左右180mm

■ 掲載回数: 1回

■ 料金: カラー250,000円(税別) / モノクロ170,000円(税別)

※ご掲載希望の場合は当社営業担当者またはDaily Cargo電子版「お問い合わせ」からご連絡ください。
※掲載枠の確保は先着順となります。ご希望の掲載日に沿えない場合がございます。

記事中(1/4ページ)

紙面1/4ページ分を活用した広告枠です。

「Air」「Logistics」「Ocean」の各モードから掲載カテゴリを選択可能です(ページ指定は不可)。

■広告サイズ: 天地60mm×左右180mm

■掲載回数: 1回

■料金: カラー120,000円(税別) / モノクロ90,000円(税別)

※ご掲載希望の場合は当社営業担当者またはDaily Cargo電子版「お問い合わせ」からご連絡ください。
 ※掲載枠の確保は先着順となります。ご希望の掲載日に沿えない場合がございます。

除外一転、体制整うまで維持

■米国の対中デミニミス

米国は4日午前0時1分(米東部時間)から、中国(香港含む)の輸入品に対する10%の追加関税を課すとともに、関税などが免税されるデミニミスの適用除外としたが、トランプ米大統領は5日、デミニミスについては、関税収入を完全かつ迅速に処理し、徴収する適切なシステムが整うまでの間、従来通りに適用するという大統領令に署名した。追加関税やデミニミス巡っては、現場の混乱が見られていた。米国郵政公社(USPS)は4日、中国郵政と香港郵政の国際郵便と航空小包の受け入れを一時停止す

るとしたが、5日には一転して継続すると発表。米国税関・国境警備局(CBP)と緊密に連携し、配達への影響を最小限に抑えるため、新たな関税に対する効率的な徴収メカニズムを導入したとしている。また、8日付ロイター電では、ニューヨークJFK空港で100万個以上滞留している荷物について、CBPや物流会社幹部が6日に対応を話し合ったと報じている。

越境eコマース(EC)ではデミニミスの利用が世界的に一般的だが、中国発ECの小包貨物が、米国の長らく社会的課題としている医療用麻薬オ

ピオイド「フェンタニル」を含めた麻薬密輸で悪用されているとして、適用除外としていた。米国のデミニミスの2024年の輸入件数(B/L件数)は前年比36%増の13億6000万件と伸び、22年比で倍増。輸送手段では航空が大半を占めており、航空の輸入件数は前年比25.0%増の11億件と伸び、22年比から倍増している。増加分の大半は中国発越境ECでの利用とされる。アジア発北米向け航空マーケットの需給ひっ迫の主因である中国発越境ECに対するデミニミス措置の影響が注視されている。

貨物売上高9%増、EC需要増などで

■大韓航空<24年10~12月期暫定決算>

大韓航空(KAL)は7日、2024年通期(1~12月期)の暫定決算を発表した。10~12月期(第4四半期)の売上高は前年同期比1%増の4兆296億ウォン(約472億円)。このうち旅客は前年同期比3%減の2兆3746億ウォン、貨物は9%増の1兆1980億ウォンだった。貨物は中国発eコマース(EC)需要や年末商戦期のシーズナル需要などがあり、底堅いニーズがある中で堅調さを維持した。10~12月期の営業利益は約2.6

倍の4765億ウォン。当期純利益は前年同期の2346億ウォンの赤字から2833億ウォンの黒字に転換した。通期売上高は前期比10.6%増の16兆1166億ウォン、営業利益は22.5%増の1兆9446億ウォン、当期純利益は36.8%増の1兆2542億ウォン。通期売上高は過去最高額となる見通しだ。25年第1四半期(1~3月期)については「世界的な政治環境の変化など、事業環境の不確実性が予測さ

れるが、アジア航空との統合準備期間を経て、グローバル航空会社として競争力を強化していく」(KAL)としている。

貨物事業については、ECが引き続き貨物需要を牽引する中、事業ポートフォリオを多様化し、柔軟に供給を市場投入することで収益性を高める方針を示した。一方、旅客事業では長距離路線ニーズが継続し、中国路線の回復などが期待される。需要増が見込まれる路線を維持しつつ、不定期便を増やすことなどで収益の最大化を図るとした。

記事中
(1/4ページ)

展望台

関税管理とCLOの国際物流

第2次トランプ米政権が発足して1カ月が経った。国際物流に係る施策・方針では、関税関連やパナマ運河関連などがあった。

全体的には第1次政権時の施策・方針や前政権からの潮流も踏まえて予見可能なものもあれば、そうでないものもある。国際物流への影響は局所的に発生し、また、収束しているようだ。今後もさまざまな施策・方針が出されてくるだろうが、国や企業は関税を含めた貿易、国際物流・ロジスティクスを含めたグローバルサプライチェーンに対する専門性を高め、自らの戦略を持ったうえで対応が必要になるだろう。

専門性については、今年1月30日に「EPA利用推進有識者勉強会」が発表した提言も含めた報告書が興味深いものだった。同勉強会は財務省関税局が昨年6月、経済連携協定（EPA）利用推進への課題と対応策検討のために立ち上げたもので、第2次政権誕生を予測したものではない。同報告書では、経営層が関税マネジメントの重要性を理解することが重要と指摘しており、世界の貿易環境が大きく変化する中、身近な関税ルール専門家である通関士（通関業者）が、アドバイザーになれる可能性があるとして「EPA関税認定アドバイザー（仮称）」や養成講座の創設を提言している。

同勉強会では、西村あさひ法律事務所・外国法共同事業の米谷三以弁護士が昨年6月20日、関税に対する「戦略的思考」の必要性について発表している。その中で、「関税関連ルールは働きかけによって変化し得る。したがって、所与とせず、（経営）戦略的対応を考える余地がある。関係する手続・組織を踏まえ、適切な相手方に適切なタイミングで働きかけることが必要」としており、示唆に富む。

経営層の責任という点では、改正物効法で特定荷主には物流統括管理者（CLO）の選任が義務付けられた。業務内容を見ると国内のトラック輸送関連の内容が羅列されている。国際物流も管理する役割を担うが、当然のことであるため記載されていないに過ぎない。数千社とも言われる特定荷主は、国際物流に精通している役員級の人材を確保しているのか。それとも育成していくのか。

1911年に小村寿太郎外相の下で日米通商航海条約が発効し、関税自主権を回復したことで日本国は不平等条約の改正を果たした。戦後も数々の貿易摩擦に直面してきた。関税マネジメントに精通した経営層や国際物流の専門性を持つCLOの下、強い胆力と戦略性を持って世界に伍していくことを期待したい。（井上昭憲）

コラム下

コラム下

Daily Cargoで毎日掲載するコラム「展望台」下の広告枠です。

- 広告サイズ： 天地60mm×左右180mm
- 掲載回数： 1回
- 料金： カラー250,000円(税別)／モノクロ170,000円(税別)

※ご掲載希望の場合は当社営業担当者またはDaily Cargo電子版「お問い合わせ」からご連絡ください。
※掲載枠の確保は先着順となります。ご希望の掲載日に沿えない場合がございます。



名刺

会社名や会社ロゴ、所在地、連絡先、代表者名などを表示する広告です。

リーズナブルな料金設定で、自社名や代表者名などをPRするのに最適です。

-
- 広告サイズ： 天地66mm×左右61mm
 - 掲載回数： 1回
 - 料金： カラー30,000円(税別)

除外一転、体制整うまで維持

■米国の対中デミニミス

米国は4日午前0時1分(米東部時間)から、中国(香港含む)の輸入品に対する10%の追加関税を課すとともに、関税などが免税されるデミニミスの適用除外としたが、トランプ米大統領は5日、デミニミスについては、関税収入を完全かつ迅速に処理し、徴収する適切なシステムが整うまでの間、従来通りに適用するという大統領令に署名した。追加関税やデミニミス巡っては、現場の混乱が見られていた。米国郵政公社(USPS)は4日、中国郵政と香港郵政の国際郵便と航空小包の受け入れを一時停止す

るとしたが、5日には一転して継続すると発表。米国税関・国境警備局(CBP)と緊密に連携し、配達への影響を最小限に抑えるため、新たな関税に対する効率的な徴収メカニズムを導入したとしている。また、8日付ロイター電では、ニューヨークJFK空港で100万個以上滞留している荷物について、CBPや物流会社幹部が6日に対応を話し合ったと報じている。

越境eコマース(EC)ではデミニミスの利用が世界的に一般的だが、中国発ECの小包貨物が、米国が長らく社会的課題としている医療用麻薬オ

ピオイド「フェンタニル」を含めた麻薬密輸で悪用されているとして、適用除外としていた。米国のデミニミスの2024年の輸入件数(B/L件数)は前年比36%増の13億6000万件と伸び、22年比で倍増。輸送手段では航空が大半を占めており、航空の輸入件数は前年比25.0%増の11億件と伸び、22年比から倍増している。増加分の大半は中国発越境ECでの利用とされる。アジア発北米向け航空マーケットの需給ひっ迫の主因である中国発越境ECに対するデミニミス措置の影響が注視されている。

貨物売上高9%増、EC需要増などで

■大韓航空<24年10~12月期暫定決算>

大韓航空(KAL)は7日、2024年通期(1~12月期)の暫定決算を発表した。10~12月期(第4四半期)の売上高は前年同期比1%増の4兆296億ウォン(約472億円)。このうち旅客は前年同期比3%減の2兆374億ウォン、貨物は9%増の1兆198億ウォンだった。貨物は中国発eコマース(EC)需要や年末商戦期のシーズナル需要などがあり、底堅いニーズがある中で堅調さを維持した。10~12月期の営業利益は約2.6

倍の4765億ウォン。当期純利益は前年同期の2346億ウォンの赤字から2833億ウォンの黒字に転換した。通期売上高は前期比10.6%増の16兆1166億ウォン、営業利益は22.5%増の1兆9446億ウォン、当期純利益は36.8%増の1兆2542億ウォン。通期売上高は過去最高額となる見通した。

25年第1四半期(1~3月期)については「世界的な政治環境の変化など、事業環境の不確実性が予測さ

れるが、アジア航空との統合準備期間を経て、グローバル航空会社として競争力を強化していく」(KAL)としている。

貨物事業については、ECが引き続き貨物需要を牽引する中、事業ポートフォリオを多様化し、柔軟に供給を市場投入することで収益性を高める方針を示した。一方、旅客事業では長距離路線ニーズが継続し、中国路線の回復などが期待される。需要増が見込まれる路線を維持しつつ、不定期便を増やすことなどで収益の最大化を図るとした。

求人

求人

人材募集用のリーズナブルな料金設定の求人広告です。

「Air」「Logistics」「Ocean」の各モードから掲載カテゴリを選択可能です(ページ指定は不可)。

■広告サイズ: 天地60mm×左右180mm

■掲載回数: 4回 / 1セット

■料金: カラー300,000円(税別) / モノクロ200,000円(税別)

メルマガ広告

Daily Cargoのメルマガ会員向けに、国際物流関連ニュースを定期配信しています。

この定期メルマガ内にテキスト広告の掲載が可能です。広告枠は、メルマガ上部の「ヘッダー広告」と下部の「フッター広告」をご用意しています。

■メルマガ配信日： 毎週日曜、月曜、火曜、水曜、木曜の19時頃配信
(翌日付紙面の見出し掲載)

■テキスト分量： 全角36文字×5行

■掲載回数： 5回

■料金： ヘッダー広告150,000円(税別)／フッター広告100,000円(税別)

※ご掲載希望の場合は当社営業担当者またはDaily Cargo電子版「お問い合わせ」からご連絡ください。
※掲載枠の確保は先着順となります。ご希望の掲載日に沿えない場合がございます。

メルマガの登録は <https://www.daily-cargo.com/mailmag/>

ヘッダー広告

【トップニュース】

■エティハド航空 スタニスラス・ブラン貨物担当バイスプレジデント 「A350Fを3機追加、貨物機数3倍に」

エティハド航空(ETD)のスタニスラス・ブラン貨物担当バイスプレジデント(VP)がこのほど来日して本紙の取材に応じ、「(10月30日取材)ちょうど昨日、A350F型機を追加で3機発注した。向こう5年で貨物機数が3倍に拡大する」と説明した。成田への就航意欲については「就航したくても今は(全機フル稼働のための)機材に余裕がない。A350F型機の受領が進めば、成田も含む新路線を広げる選択肢ができる」(以下すべてブラン貨物担当VP)とした。

<https://www.daily-cargo.com/>

【航空】

■成田・輸入引き渡し遅延で半日超 輸入トラックDMS等入で、改善策を

■成田国際空港会社 IATAのデジタル渡航実験に参画

<https://www.daily-cargo.com/news/aviation/>

フッター広告

3年内好調
高騰で前年同期比7倍

月連続増
1トン、TC2が大幅増

記事体広告(1/2ページ)

記事広告1/2ページ分の広告メニューです。キーマンインタビューや新サービス紹介、周年企画などの企業PRを実施することが可能です。

「Air」「Logistics」「Ocean」の各モードから掲載カテゴリを選択可能です(ページ指定は不可)。

- 文字数: 1,000文字程度(見出し、写真、図など含む)
- 掲載回数: 1回
- 料金: カラー330,000円(税別) / モノクロ230,000円(税別)

※記事は当社記者が取材し作成します。記事の持ち込みも可能ですが、当社の編集方針に合わせた文字等の校正が入ります。

※ご要望に合わせた紙面デザインを作成いたします。また、紙面デザインの確認が可能です。

※ご掲載希望の場合は当社営業担当者またはDaily Cargo電子版「お問い合わせ」からご連絡ください。

※掲載枠の確保は先着順となります。ご希望の掲載日に沿えない場合がございます。

※上部に「広告」と明記されます。



記事体広告(1ページ)

記事広告1ページ分の広告メニューです。キーマンインタビューや新サービス紹介、周年企画などの企業PRを実施することが可能です。

「Air」「Logistics」「Ocean」の各モードから掲載カテゴリーを選択可能です(ページ指定は不可)。

- 文字数： 2,000文字程度(見出し、写真、図など含む)
- 掲載回数： 1回
- 料金： カラー650,000円(税別)／モノクロ450,000円(税別)

※記事は当社記者が取材し作成します。記事の持ち込みも可能ですが、当社の編集方針に合わせた文字等の校正が入ります。
※ご要望に合わせた紙面デザインを作成いたします。また、紙面デザインの確認が可能です。
※ご掲載希望の場合は当社営業担当者またはDaily Cargo電子版「お問い合わせ」からご連絡ください。
※掲載枠の確保は先着順となります。ご希望の掲載日に沿えない場合がございます。
※上部に「広告」と明記されます。



記事体広告(2ページ)

見開き2ページ分を活用し、キーマンインタビューや新サービス紹介、周年記念などの企業PRを実施することが可能です。「Air」「Logistics」「Ocean」の各モードから掲載カテゴリーを選択可能です(ページ指定は不可)。

- 文字数: 4,000文字程度(見出し、写真、図など含む)
- 掲載回数: 1回
- 料金: カラー1,300,000円(税別)
モノクロ900,000円(税別)

※記事は当社記者が取材し作成します。記事の持ち込みも可能ですが、当社の編集方針に合わせた文字等の校正が入ります。

※ご要望に合わせた紙面デザインを作成いたします。また、紙面デザインの確認が可能です。

※ご掲載希望の場合は当社営業担当者またはDaily Cargo電子版「お問い合わせ」からご連絡ください。

※掲載枠の確保は先着順となります。ご希望の掲載日に沿えない場合がございます。

※上部に「広告」と明記されます。

記事体広告 (2ページ)